

初學日用文教授書

江尻庸一郎編  
小池民次

卷二

初學日用文教授書





米、配分有  
倉せ、  
有倉せ、目子掛け、

種物、

種物を配分する文

玉府烟草、

玉府烟草の種別米較し、目子付種

少、あから、配分較し、目子受納下

さるべく、

落花生、

落花生を人子たくる文

粗、目子付、とも落花生有倉せ、目子付、

目子掛け、目子受納下、れ、度、以上

第二課

面倒、

面倒、あから、目子付、下、さ、れ、度、

至急、

至急、目子付、下、さ、る、べく、

相違、仕立、

相違、あ、く、目子付、仕立、下、さ、れ、度、

寸法書、通、

寸法書の通、目子付、仕立、下、さ、る、べく、

約束、日限、

約束の日限まで、目子付、仕立、中、に、

塩を取寄する文

才田塩

才田塩控俵入用子付至急に遣下され候此取は取中以上

仕立物を取む文

羽織、立替、明後日、

毎夜は面倒から羽織を殺す法書の通明後日までにお違ふく仕立下され候取中以上

第三課

幸便、買求、

幸便の節は買求め下さるべく候

代金、立替、

代金に立替下され候は

依頼、

依頼の品買求中候

お拂、

代金を圓或控錢お拂中候

直取、何程、

直取は何程子に問合せ下され

問合、

候は

町、

書物の買求めを取む文

毎夜は面倒から何町、幸便を取あり候初學日用文教授書は買求

憚

め下されば及憚るから代金に立替  
下されば此取頼み中より以上

依頼を受けて買求めたる品  
を届くる文

石板

取依頼の石板今日買求めの品は届  
中より代金貳拾五錢を拂ひ中より  
序の品より送下されべく候

第四課

大切

此大切の品拝借致し有難く候

永

永に拝借有り難く候

氣の毒

此氣の毒ながら貸渡し下され候

渡

他、貸渡し只今手許におかれ候

早速

早速取寄せ申立申下べく候

承知

承知下され候

借きたる道具を返す文

道具

此大切の道具永に拝借有り難

巻二

初學日用文章抄

四

借きたる道具を返す文

くおの只今返上致しつる改めは  
受取下さるべくい

屏風を借用する文

此大切の品にて此氣の毒まはしども  
屏風を双拝借致し度承知下  
されいし此者、此貸渡し下され致  
し以上

第五課

遠路、苦勞、  
入来、お談、  
儀、即刻、  
閑暇、  
待、百發、  
在宅、  
遠路、此苦勞あからし入来下され致し  
お談致し度儀おれありし  
即刻、此出下され致し  
閑暇の事、此入来下され致し  
此待下され百發い  
お成べくい、此在宅下され致し

お談ありて人を招く文  
お談致し度儀おれありし、遠路

此苦勞志から即刻の来下され  
夜の以上

在宅を頼む文

至急の目子掛り夜儀されあり今  
晩余上致しおるお成くは在宅  
下され夜の以上

今晚

第六課

益、棧嫌、克目出、夜なる上、  
益、棧嫌、克目出、夜なる上

克、揃、目出、此揃、棧嫌、克目出、夜なる上

夜、此夜、新、此夜、新、宅、引、後、り、の、由

宅、引、後、り、由、小学、初、等、科、卒業、の、由

初、等、科、卒業、の、祝、儀、の、中、ま、で、目、子、掛、り、の

業、祝、儀、中、此、悦、と、し、て、進、上、致、し、の

悦、

新宅、引、後、り、祝、の、文

此夜、新、宅、引、後、り、の、由、目、出

交、せ、者、を、夜、なる、上、の、舞、臺、の、交、せ、者、を、籠、り、

籠  
 祝儀として進上致し、  
 されば以上  
 卒業悦の文

試験

昨日の試験を以て、  
 業の由目出度なす、  
 受納下さるべく以上

第七課

永く  
 様子  
 見舞  
 看病行願  
 進、快く  
 安心  
 心配

此程、永く、  
 由様子お伺い  
 由病氣見舞、  
 看病、  
 進、快くお成  
 由安心下さる、  
 由心配下さる、

病氣見舞の文



此程に承るは病氣の由ぬ何成され  
けはは様子何成は此品篇未志から  
正見孫の仰りまで進上致しは  
受納下さるべくい以上

病氣見孫返事の文

病氣は見孫として何よりの品戴  
き有り難く存は此程は返り快くお  
成り台心配下されり受納い以上

第八課

土産

澤山

態々、君ね

何ま

却て、甘沙

法、先

存外、失禮

何よりの土産戴き有り難く存は

澤山は戴き有り難く存は

態々は君ね下され系く存は

何まは目は掛るは程中上づくい

是より却ては甘沙法致しは

法は先法の段先下さるべくい

は君の存外失禮致しは

謝文

東京持取

上

土産を贈られしを謝する文

東京より由持取の由にて何より

の由土産澤山と裁き有り難く存

何き由目子掛り由禮中一上づく

以上

尋ねられしを謝する文

先日の態と由尋ね下され赤く存

其節に十女外の失禮致し由

免下さるべく以上

第九課

注文便船

由注文の便船にて了る中

差立到着

到着の上由受取下さるべく

案内

此取由案内以上

荷物未

由差立の荷物未と到着致し

以上

見合

荷物由差立の儀由見合せ下され

以上

品物差立を案内する文

右注文の品今日便船まで差立中  
此地に到着候し候し由改め此  
受取手より候し此取手案内上  
候し

荷物の到着を知らする文

右差立の荷物昨日到着候し此  
取改め候し取改め候し此取

品物

右知らせ申上候し

第十課

玄米及金圓の受取書

及、金圓、  
記、

手紙、

玄米、  
右取、也、

右取、也、

記

一由手紙

右通

一玄米

右取

右取受取申上候し

年月日

何の誰

取

大豆、但、俵

松真木、繩

束、右

何の誰取

大豆、花、松真木、差立の送状

記

一大豆

但四斗入

貳拾俵

一松真木

但貳尺五寸繩

五百束

右取注文子付便船にて今日日差  
立中ハ到着の上ハ取改め取受取  
下さるべくハ此取取案内中上取也

社

年月日

何の社

取中

何の誰

初學日用文教授書卷二終

